



学校だより

令和3年度10月号

文教大学附属小学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



ないものは創るべし！

～未来を築く子どもたちにつける力～

校長 島野 歩

季節が大きく変化する頃、神無月。秋が日に日に深まってきます。先日の月曜朝礼で十五夜のお話をしましたら、早速翌日には、「先生、十五夜の満月撮影しました！」「きれいです」と写真を見せてくれました。学校での学びを追究する姿が素敵です。



先日、6年生の子どもたちがわきあいあいと勉強の話をしているところに混ぜてもらったときのこと。

「算数の問題の解き方がわからなかったとき、どうしてる？」が話題に！一番多かった答えは「とことん考え続ける」でした。素晴らしい！さすが本校の6年生！粘り強さが力に結び付いています。二番目に多かった答えが「先生や友達に相談する」。大切なことです。自分で最後までできれば良いですが息詰まることもあります。そのときに周囲に力を借りることは必要なことです。

一方で、算数のように答えがない、誰も知らない、どこにも答えがないという場合はどうすればよいのでしょうか。ライト兄弟は空を飛びたいと思いましたが、そのようなものがなかったので飛行機を発明しました。遠くの人と話ができたらいいなという思いを、ベルは電話の発明によって実現しました。病気の人を助けたいと野口英世は医者になって研究し医学に大きな貢献を果たしました。

これから来る近未来は、さまざまなことが変革のときを迎え、今にも増して「**答えのない時代**」となります。だからこそ、「**ないものは創るべし**」！・・・「ないもの」に対し、誰かが持ってきてくれるのを待つのではなく、「**自分でアクションを起こす**」！先ほどの6年生のようにまずは「とことん考え」「周囲に相談し」・・・夢をもち、願いをもち、前向きに行動が起こせる子どもたちに！・・・育まれています。子どもたちの心、学びへの姿勢、知力。

新型コロナの厳しい状況だからこそ、日々の子どもの成長を頼もしく感じます。

保護者の皆様の温かいお支えのおかげです。心から感謝申し上げます。



4年生「服のチカラ」プロジェクト & ボランティア委員会「エコトレーディング」



みなさまのご協力でたくさんの服が集まりました。早速、必要とされている国々へ送らせていただきます。ありがとうございました。

教育振興事業 ようこそ先輩

教育振興事業とは……

毎年、文教大学学園・小学校にゆかりのある方もしくは卒業生の方にご来校いただき、現在のご活躍を語っていただくとともに、子どもたちに「大切にしていること」をレクチャーしていただいています。



* これまでのご来校いただいた方々

文教大学なわとび世界チャンピオン 藤沢祥太郎氏

文教大学プロフットバックプレーヤー世界チャンピオン 石田 太志氏 等

* 今年は……

本校の卒業生 八幡祐成氏 (東京大学 航空宇宙工学科)をお招きし、

「夢のめざしかた」について語っていただきました。

小学生のときに「小惑星探査機 はやぶさの帰還」のニュースを衝撃と感動をうけ宇宙開発への夢がうまれたこと。夢をかなえるために、開成中学高等学校へ進学し、現在の東京大学 航空宇宙工学科につながっていること。その語りは夢にみちあふれ、子どもたちを魅了し、「夢をもちつづけること」への希望に光をあたえてくれました。八幡くん、ありがとう！！これからも応援しています。

八幡祐成くん流 「夢のめざしかた」

- ① 中学選びも大学選びも、大切なのは「自分がそこで何をしたいか！」
- ② やるのも自分。進むのも自分。全ては自分次第！
- ③ 人と比べない！
- ④ チャンスを逃さない！
- ⑤ いろいろなことにチャレンジする気持ちを忘れない！
- ⑥ 自分の好きなことを追究しつづける！
- ⑦ 健康でいること！
よく運動し よく食べ よく寝る！



自助・
共助の力を
つける！

防災の日 8月27日



「防災の日」のねらいとするところ

本校では、毎月1回の避難訓練を行っています。
毎回、地震や火事、不審者対応など設定を変え
想定する時間もいろいろな場面とし、いついかなる場合も
災害に対応できる力をとを考えています。なぜなら
子どもたちに、強い「自助」の力をつけてほしいと願うから
です。

一方で、われわれ教職員は、どのような災害においても、
「絶対に死なせない。必ず子どもたちの生命は守る。」とい
う覚悟と強固な組織力を持ち続けていきたいと考えます。

そこで、さらなる災害における対応の知識と組織力を培う
ため、「防災の日」を毎年設定しています。

自分の身を守るための知識や安全な行動について、
今後も学び続けてまいります。



令和5年度「防災の日」学習プログラム

- ① 電車の中で地震がきたら……。
- ② 地震のときは、ブロック塀に近づかない！
- ③ 火事が起きたら……。
- ④ 火や煙から安全に逃げる方法。
- ⑤ 絶対に生命を守る！自助・共助の意識。
- ⑥【実践編】使ってみよう！消火器

「防災の日」をふり返って ……子どもの感想

守ろう、自分のいのち! 年


話を聞いたり、活動を通して、気が付いたことや考えたことをメモしてください。

島野校長先生のお話を聞いて、わかったことや考えたことをメモしてください。

かじやじんやかみなりなどからじいばんをまもることのおはなしじいばんでじいばんをまもることをおしえてくれました。

消火器の使い方を体験して、わかったことや考えたことをメモしてください。

しょうかきのあけかたをまなびました。



学習カード
守ろう、自分のいのち! 年

話を聞いたり、活動を通して、気が付いたことや考えたことをメモしてください。

島野校長先生のお話を聞いて、わかったことや考えたことをメモしてください。

×じか出たらしょうかきで全ぶ消せる。かくソつもすくないからけせなかつたらすくにけること。わすれものがある。でも、もどらなし。めんをかんじたらすびフロックベキいう石かべからばなれること。

×じか火のせくらいにな。たらちつてめらなし。火から出さけあソつては、いけたい。かんカで口をまえて、せ。


ひくして、あるく。自分のいのちは自分でまもる!!

消火器の使い方を体験して、わかったことや考えたことをメモしてください。

黄色いものをとて、ホースをぬいて、しんをひいたら水がでます。しんをひくとまてても、やわからくてひらくりしな。わわからくてると、まてをひけるようにな。ひいてすこいにておきました。

本ものは一回ひいたらもうとわられなひのことです。

しょうかきであそぶことは、せたいしんのため!!



守ろう、自分のいのち! 3年

話を聞いたり、活動を通して、気が付いたことや考えたことをメモしてください。

島野校長先生のお話を聞いて、わかったことや考えたことをメモしてください。

しんとらたと道がわかることをした。

じしんがあたら、せ、たいにでんしからぶりない。

わたしの家のちかくにフロックベキがあるのてきをつける。


火事かあたら、はずがしからず大きい声で火事だーと、まけぶ。

はのうが人のせたけならいにな。たらなるべくしんをひくしてにける。

わすれものがある。でも、もどらなし。

消火器の使い方を体験して、わかったことや考えたことをメモしてください。

今日のしょうかきは水た、たけれと、ほんものは人にはかけはいけない。



守ろう、自分のいのち! 4年


話を聞いたり、活動を通して、気が付いたことや考えたことをメモしてください。

島野校長先生のお話を聞いて、わかったことや考えたことをメモしてください。

様のがん所でのよう行動が命を守ることに繋がるのかよく分かりました。自分で自分の命を守ることも大事さを考えることができました。

消火器の使い方を体験して、わかったことや考えたことをメモしてください。

消火器の法を実践すると落ち着いて消火をすることが大事だということになりました。本当に火事か起きたときも消火器の使い方を忘れずに落ち着いて行動しようと思いました。



守ろう、自分のいのち! 5年


話を聞いたり、活動を通して、気が付いたことや考えたことをメモしてください。

島野校長先生のお話を聞いて、わかったことや考えたことをメモしてください。

改めて災害には気を付けて準備をしておいた方がよいと思いました。

消火器の使い方を体験して、わかったことや考えたことをメモしてください。

本当に火事かあ、て大人がいなかつた時、いざという時やくに立つので、それを勉強できてよかったです。



学習カード
守ろう、自分のいのち! 6年

話を聞いたり、活動を通して、気が付いたことや考えたことをメモしてください。


島野校長先生のお話を聞いて、わかったことや考えたことをメモしてください。

いつかでおきるかわからないなから、急に災害かあきた時に冷静に対処することが大切だと思いました。

なので、たまにハザードマップを確認したりして、かたんか災害についてよく考えておくことがとてもいいだと思いました。防災の日に勉強することをしかりいかしていかたいです。

消火器の使い方を体験して、わかったことや考えたことをメモしてください。

もし消火器を使うことになたら、同じ手順でおちついてやりたいです。



校内弁論大会 9月24日



令和3年度 校内弁論大会 プログラム

- 1 「葉の怖さ」……………6年 木村 薫
- 2 「核家族について思うこと」…6年 立原 弦佳
- 3 「誹謗中傷の問題」……………5年 中島 渉真
- 4 「生きるとは」……………4年 望月 航
- 5 「今、この世界を変えるには」…6年 新橋 侑
- 6 「実はとても危険！大雨」……………5年 石山 怜之介
- 7 「豊かな未来のために」……………4年 荒木 康太郎
- 8 「「その場」の素晴らしさ」……………5年 請関 晃久
- 9 「津波が教えてくれた「生きている」きせき」……………
4年 宮崎 修吾
- 10 「核という人類の課題」……………5年 竹山 煌将
- 11 「手紙文化、減少の危機！？」…4年 河井 義治
- 12 「人が自分たちでやりたいこと」……………
6年 榎本 道信



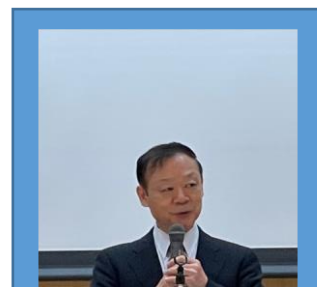
審査結果

- 最優秀賞……………6年 榎本 道信
優秀賞……………4年 河井 義治
優秀賞……………6年 木村 薫
努力賞……………4年 宮崎 修吾
努力賞……………4年 荒木 康太郎

早川 明夫先生 ご講評

(文教大学生涯学習センター講師・
森上教育研究所 講師)

「経験を交えて、自分の言葉で自分の考えを論じている姿がすばらしかったです。聞き手に伝えたい、届いてほしい、と思う強い気持ちが伝わる今回の弁論大会でした。日ごろからの疑問や驚き、感動を忘れずに！」



10月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
					1 都民の日	2 父母の会 「文教ドキドキ運だめし」
3	4 避難訓練	5 第5回 オンライン学校説明会 (B時程2校時下校)	6	7	8	9 休業日
10	11 第1回入学願書 受付開始(郵送)	12 お会式	13	14	15 3年 社会科見学	16 5・6年 時事問題対策講座 (保護者希望配信)
17 創立記念日	18	19	20 6年 社会科見学	21	22 1年 生活科見学	23 休業日
24	25	26	27	28	29	30 授業風景配信 4年 水道キャラバン
31						

10月の生活目標

重点目標 **〈文教っ子ハケ条 第五条 めんどうなことを後回しにしないこと。〉**

◎ 学校やクラスのことを大切にしよう

◎ 登下校のルールやマナーを守ろう

- ・登下校で周囲に迷惑をかけない。・トイレの使い方を見直す。
- ・みんなで使う場所をすみずみまできれいにする。・場所や天候を考えた遊びをする。
- ・ハンカチとちりかみを身に付け、手洗いうがいをする。

◎ コロナが日常にある生活 〈文責：教頭 田中 宏一〉

『ひとりひとり違う、パーソナルスペース』

1966年、アメリカの文化人類学者のエドワード・T・ホールは、対人距離を4つのゾーンに分けました。本人に近い方から45cmまでの密接距離(英: intimate distance)、45cm~120cmの個人距離(英: personal distance)、1.2m~3.5mの社会距離(英: social distance)、3.5m~7mの公共距離(英: public distance)です。最近よく耳にする2m離れて話をするソーシャルディスタンスはこの社会距離を目安にしているのだと思います。

パーソナルスペース(英: personal-space)とは、他人に近付かれると不快に感じる空間のことで、パーソナルエリアとも言われます。この空間は相手によって変わる距離ですが、コロナ禍によってより不快に感じる距離は大きくなっているように感じます。

そしてこれは、みなさんにそれぞれあるように感じます。私も、朝道路に立っているとき、自然と道路を挟んで距離をとって、あいさつをするようになりました。道路幅が丁度4mなので、私のあまり面識のない方への公共距離は、4mなのだと思います。車が来てどうしても距離が近くなった時には、あいさつすることを戸惑ってしまいます。文教小のみなさんや保護者の方へは、道路の真ん中からならスムーズに声がでます。私のよく知る知り合いへの社会距離は2mなののでしょうか。ただこれは、あくまで私の感覚なので、相手には不快に思われることもあると考え、できるだけ距離はとって、元気に挨拶しようと思っています。

みなさんの近づかれると不快に思う、パーソナルスペースはどれくらいでしょうか、一度考えてみることもいいかもしれませんね。そして、周りの人は違うこともあることを少し考えて、みんなが気持ちよく学校生活を送れるといいですね。もちろん、マスクをきちんとするマナーも忘れずに！

【参考：ウィキペディア フリー百科事典より】



車での送迎時の停車位置につきましてのお願い

毎日、車での送迎時の停車位置につきましては、ご協力いただきありがとうございます。重ねてのお願いとなりますが、車の停車位置につきまして、**交差点付近、車の出入り口付近、玄関の前**には停車されませんようご協力をお願いします。また、乗り降りは、なるべく短時間にできるよう、降りる前の準備をお願いいたします。